



みどりさんのおすすめレシピ

シシトウとナスの肉あんかけの作り方

旬のナスとシシトウをひき肉と合わせてジューシーな一品にしました。シシトウのちょっとした苦味が、ナスやひき肉の甘みを引き立てます。ご飯にかけて丼にされてもよいと思います。是非お試しください。



材料 2人分

・シシトウ 10 本、豚ひき肉 200g、なす 2本、水 300 cc、 酒 大さじ1、だしの素 小さじ1、水溶き片栗粉 小さじ2 ・砂糖 少々、しょう油 適宜

作り方

- ① ナスを 1cm の厚さで輪切りします。シシトウは水気を切って表面に穴を開けます。
- ② ナスとシシトウを油で素揚げします。少し焦げ目がついて箸でつかんで柔らかくなっていたら上げ時です。
- ③ 野菜をあげている間に、鍋に水、酒、だしの素、砂糖、しょう油を入れ、火をかけます。沸騰したらひき肉を入れてかき混ぜます。
- ④ 最後にとろみを調整しながら水溶き片栗粉を入れます。お皿に盛り付けた素揚げした野菜に出来上がったひき肉あんをかけたら完成です。

住まいのワンポイントアドバイス

整理収納 アドバイザーの ひとりゴト②

先日整理収納アドバイザーの講習に行ってきました。改めて考え方と収納技術を教わってきたのですが、講習内容で驚いたのは具体性でした。グループ討議は、「冷蔵庫の整理を促進することによって、稼働率(出し入れの時間短縮、調理時間の短縮、神体負荷の軽減など)を向上し、且つ食費を3割カットする方法を考えてください。」でした。整理収納アドバイザーが一つの机に集まり考えていく。様々なアイデアを発想し集積していきました。とても勉強になりました。現在は整理収納の知識をひとりゴトとして発信していますが、いつかワークショップ形式



皆さんにお伝えできたらいいなと感じました。その時はよろしくお願いします。 長期保管の注意

今回の整理収納講習でも学びました、長期保管するモノの整理について書きたいと思います。

使用頻度はほとんどないけれど、どうしても手放せないモノがあります。特に思い出の品は、メモリーの強いものほど使うことはなくても持っているだけで幸せな気持ちにさせてくれるかけがえのないモノたちです。例えば子供のモノや絵であったり、工作だったり作文など、その頃と重ねて思い出す大切なモノです。



このようなものを収納するには左の写真にあるバンカーズボックスを利用すると便利です。積み重ねてもある程度の重量に耐えられます。中身を取り出すときには不便ですが、長期保管するモノを収納するには向いています。中身を確認しなくてもわかるように、側面に中身を記載しておけば、誰が見ても分かります。







ボデムウェルトツア・フラフト

株式会社トップ・ワークス〒410-0311 静岡県沼津市原町中2-7-2▼410-055)967-6166 FAX(055)967-79

□ http://www.topworks.org

地域で生産されたものを、地域で消費。

JA なんすん 原産直市

原地域の 25 人の生産者が、季節に応じた「旬」 の野菜を、毎週土曜日の<u>朝8:00より、なん</u> すん原支所北側にて販売しています。

夏野菜が終わり、冬野菜の栽培の準備に取り 掛かっています。今の時期の旬は、イモ類です。 是非原の旬を味わってください。

原産直市生産者一同



シシトウを研究する

シシトウガラシ(獅子唐辛子)はナス科のトウガラシの甘味種で、植物学的にはピーマンと同種の甘トウガラシの野菜です。普段食べるのは熟する前に収穫されたもので、成熟すると赤くなります。先端が獅子の頭に似ていることから獅子唐辛子と呼ばれるようになりました。

皆さまもご経験があるかもしれませんが、シシトウの 10 個に 1 個ぐらい割合で辛いものがあったりします。その理由は様々。水不足や夜間気温が高いとシシトウにストレスがかかり辛くなったり、近くに辛トウガラシがあると交配して辛くなったりするそうです。シシトウが辛いか辛くないかは農家の方にもなかなか見分けがつかないそうです。まさしく自然のロシアンルーレットですね。

◎当日出品する野菜が、お天気によっては多少変わることがありますが、ご了承下さい。

9/21.38 10/5.12

たまねぎ・きゅうり・おくら・しょうが

ゴーヤ・葉ネギ・サトイモ・さつまいも

秋なす・インゲンマメ・ししとう・長芋・大根

じゃがいも・夏菊(お彼岸用)・新米

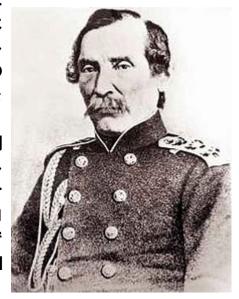
漬物・味噌・お茶・干物(最終土曜日)



ちょっとのんびり コーヒーブレイク

黒船来航、その時3

鎖国をしていた日本が唯一海外に開いていた 長崎ではなく、突如浦賀に現れたアメリカによる 黒船来航は、日本人に大きな衝撃を与えました。この不意打ちに幕府は動揺し、アメリカを た。この不意打ちに幕府は動揺し、アメリカを 結んでしまいます。このことがきっかけとなり、 日本は開国の道へ進んでいきます。実はこのも は、アメリカと同様に日本と国交交渉の同していた国があったことをご存知でしょうか? の国はロシアです。左の写真の人物は、そのシアの全権代表であったプチャーチン提督です。 沼津にゆかりの深いこの方の名前をご行知の方は多いのではないでしょうか?



ロシアはアメリカと違って平和的に国交を結ぶことを望み、日本の国法を侵さぬようにと、交渉地を長崎に選びました。そして、紳士的な態度で交渉に臨みました。その証拠として、日本人のことを考え、ロシア語の書簡にオランダ語と漢文の訳を付けたそうです。その後の交渉の際にもプチャーチンは友好的で敬意を払った態度で臨んだこともあり、日本の役人に感動を与え、結果的にアメリカと先に日米和親条約を結んでしまいますが、オランダ以外に国交を結ぶのならロシアと、幕府は決めていたようです。アメリカに遅れること 9 か月。プチャーチンはディアナ号に乗り、実務交渉のため下田へ入港します。そして、安政の大地震に見舞われるのです。その時の原宿の様子は、はらまる通信 vol.78 で書かせて頂きました。被災したディアナ号は戸田港で修理するため曳き船に曳かれ北上しますが、今度は強風に見舞われ、富士川河口沖まで流され沈没してしまいます。その時の様子も帯笑園の植松家の日記に記載されていました。その文章に当時の臨場感を感じます。『止『下 分『ミ』で"之"三"を"烈"二。存 "士"十



※原産直市は、エコロジーな環境を応援します。買い物袋は持参してください。